

## 令和5（2023）年度 資源評価調査状況報告書（新規拡大種）

### シイラ日本海系群

対象水域	日本海	参画機関名	水産研究・教育機構 水産資源研究所 浮魚資源部、青森県産業技術センター水産総合研究所、秋田県水産振興センター、山形県水産研究所、新潟県水産海洋研究所、富山県農林水産総合技術センター水産研究所、石川県水産総合センター、福井県水産試験場、京都府農林水産技術センター海洋センター、兵庫県立農林水産技術総合センター但馬水産技術センター、鳥取県水産試験場、島根県水産技術センター
------	-----	-------	--

#### (1) 調査の概要

- ・ 機構は生物情報の収集、各府県調べの漁獲情報の集約を実施
- ・ 各府県は漁獲統計の収集を実施

#### (2) データ収集状況

- 各機関により、令和2年度評価で用いた情報に加え、以下の通り情報収集を実施した
- ・ 青森県では主要21港（日本海側～陸奥湾）の2007年以降の年間漁獲量ならびに2020～2022年の月別漁法別漁獲量を収集済み
  - ・ 秋田県では2020～2022年の月別漁法別漁獲量を収集済み
  - ・ 山形県では2020～2022年の月別漁獲量を収集済み
  - ・ 新潟県では2020～2022年の月別漁法別漁獲量を収集済み
  - ・ 富山県では2020～2022年の月別漁法別漁獲量を収集済み
  - ・ 石川県では主要10港の2020～2022年の月別漁法別漁獲量を収集済み
  - ・ 福井県では2020～2022年の月別漁法別漁獲量を収集済み
  - ・ 京都府では2020～2022年の月別漁法別漁獲量を収集済み
  - ・ 兵庫県では2020～2022年の月別漁法別漁獲量を収集済み
  - ・ 鳥取県では2011～2018年および2020～2022年の月別漁法別漁獲量を収集済み
  - ・ 島根県では2020～2022年の月別漁法別漁獲量を収集済み。2007～2018年の月別漁法別漁獲量は精査中
  - ・ 機構は各府県調べの漁獲量を集約

#### (3) 生物学的特性

- (1) 分布・回遊：令和2年度評価報告書（[https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2020/report\\_2020\\_14.pdf](https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2020/report_2020_14.pdf)、2023年3月1日閲覧）を参照

- (2) 年齢・成長：同上
- (3) 成熟・産卵：同上
- (4) 被捕食関係：同上

(4) 備考

- ・資源評価調査報告書については令和2年度に作成および公表済み  
([https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2020/report\\_2020\\_14.pdf](https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2020/report_2020_14.pdf)、2023年3月1日閲覧)
- ・他海域も含めると生態特性に関する基礎知見はあるものの、日本海における生態学のおよび遺伝学的な資源構造は不明
- ・日本海全域で漁獲されており、漁獲量集計はあるものの、他の魚類と一括で集計されている地域もあり、集計値の精査が引き続き必要